

## 六甲道駅北地区のまちづくり

神戸市 都市計画総局 区画整理部 都市整備課 主幹 西尾 辰博<sup>たつひろ</sup>

### 1. まちづくりの方針・目的

六甲道駅北地区は、JR神戸線六甲道駅の北側に位置する16.1haの区域である。

この地区は、JR六甲道駅周辺には商店街や市場が立地し、JR神戸線、阪急神戸線と国道2号線により神戸方面、大阪方面へ結ばれた利便性が高い地域である。しかし、阪神大震災前は、狭小住宅の集積、住宅の老朽化、道路等都市施設整備の遅れなどの課題があった。阪神大震災により、この地区の約7割・683棟が全半壊・焼失の被害を受けた。

神戸市では、震災の教訓を生かし災害に強い安全で、安心して暮らせる街づくりを目指し、「六甲道駅北地区震災復興土地区画整理事業」を進めている。

### 2. 取組み内容

震災復興土地区画整理事業では、市民・事業者・行政による協働のまちづくり取組んでいる。

- ① まちづくり協議会の組織化
- ② まちづくり専門家の派遣
- ③ 現地相談所の設置

### 3. 苦労点・達成度等

震災発生から2ヶ月後に土地区画整理事業の施行区域を決定した。しかし、地区住民や権利者の大半が、避難所等での厳しい生活を余儀なくされた状況では、計画内容を周知説明し、理解を得るための十分な時間が取れなかった。そのため、計画決定時点では、施行区域、骨格となる道路・公園などを決定するに止め、その後、住民との話し合いによる合意形成を得て、身近な生活道路や公園等について決定を行うことにより事業を進めている。（「まちづくり提案」と「二段階都市計画決定」）

### 4. 効果・反響等

「まちづくり協議会」より

「8つのまちづくり協議会がありますが、統一的なまちづくりを進めるため、連合協議会を作りました。平成9年3月17日から今までに100号に及ぶ連合協議会ニュースを発行し、住民の情報共有に努めるとともに、子供から大人まで住民全員がまちづくりに参加できるようにしました。」

### 5. 今後の課題

これからは、「協働と参画」を理念に、土地区画整理事業完了後の「まちづくり協議会」の活動をどのように継続発展させていくかである。

（震災復興に多くのご支援をいただいたことにお礼申し上げます。）

# 未来へⅡ

あすへ



北地区のマスコット「ロッキー」も  
未来（あす）へ向かってホップ・ステップ・ジャンプ！

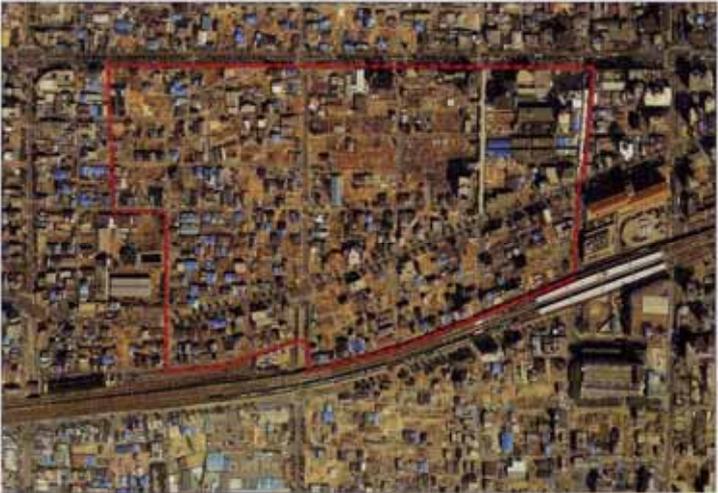
## 六甲道駅北地区まちづくり連合協議会 10年の歩み

平成7年1月17日～平成17年1月17日

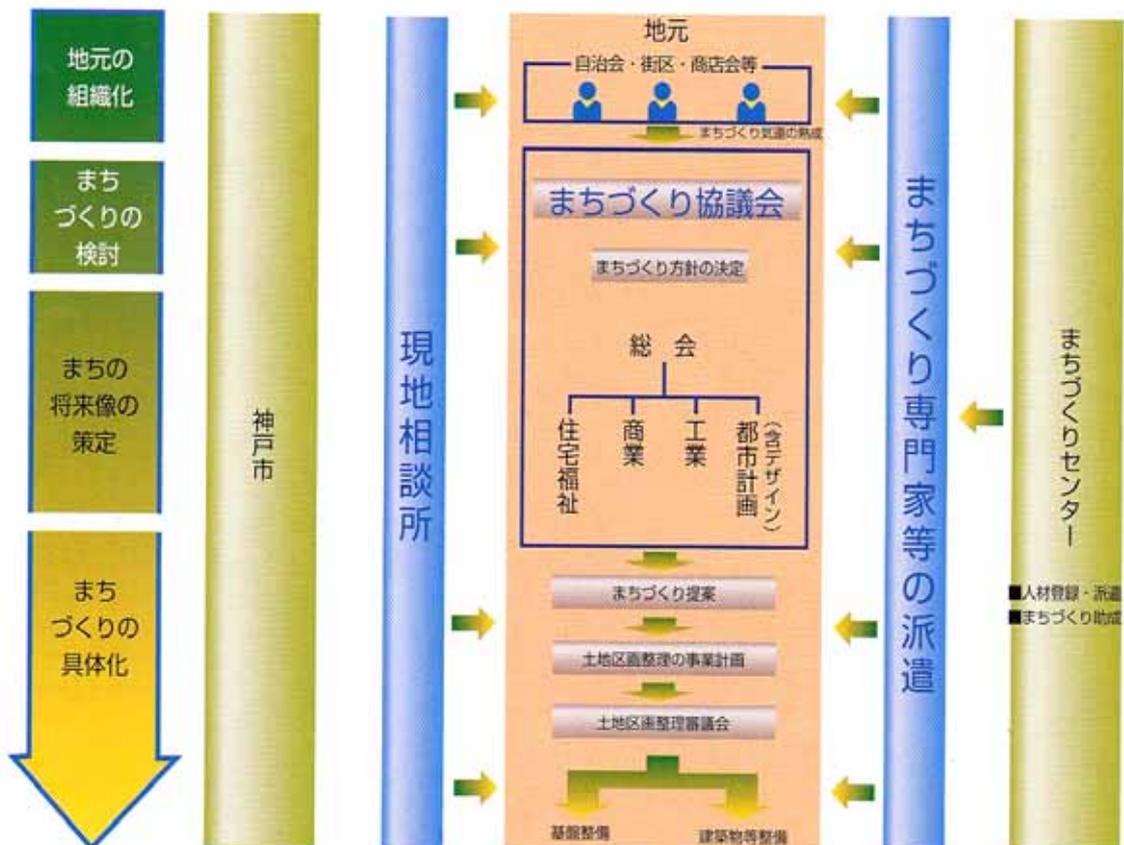


■六甲道駅北地区の位置

全壊全焼 568棟 半壊115棟  
全棟数 1,019棟  
被災割合 約67%



■地区の被災状況（震災後100日目）

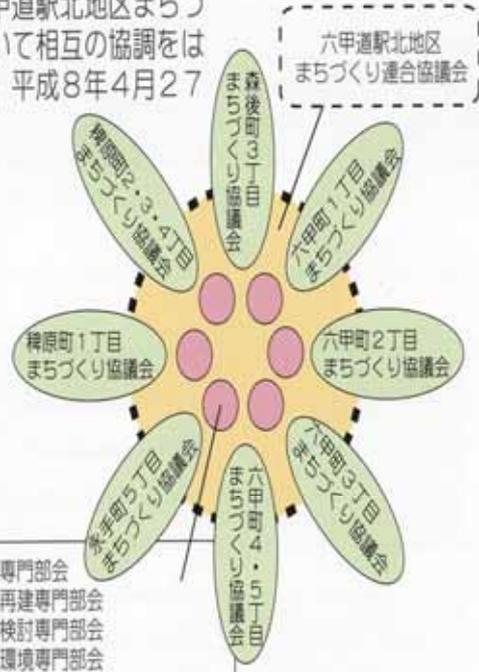


## 六甲道駅北地区のまちづくり協議会

六甲道駅北地区には8つのまちづくり協議会があります。六甲道駅北地区まちづくり連合協議会は、8つの各協議会の共通する問題・課題について相互の協調をはかり、行政との協議や交渉の基幹として活動することを目的に、平成8年4月27日に設立されました。

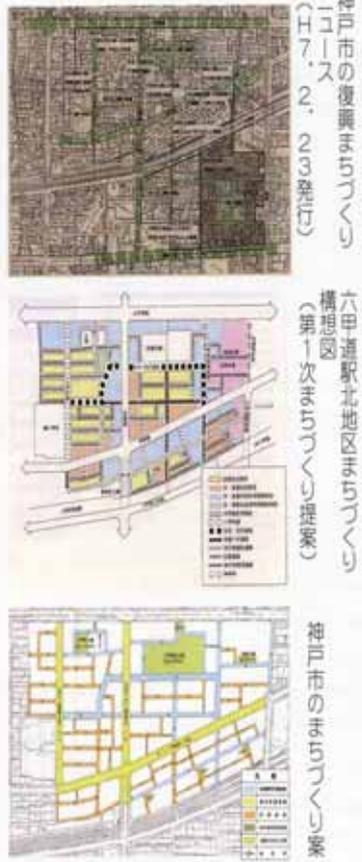


協議会の区域(協議会設立当時の地区内施設)



- 6つの専門部会
- ・住宅再建専門部会
  - ・防災検討専門部会
  - ・生活環境専門部会
  - ・道路広場専門部会
  - ・公園検討専門部会
  - ・自治会組織検討委員会 (HSJ)

協議会の構成



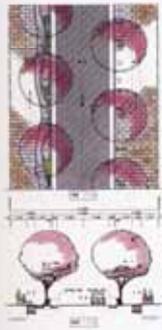
## ●まちづくり提案 第1次～第5次まちづくり提案+3つのまちづくり提案

第1次まちづくり提案は、各協議会ごとにまとめられ、それぞれ「まちづくり構想」と「付帯資料」でまとめられています。「まちづくり構想」は復興まちづくりの基本方向などをまとめました。また、北地区全体として調和のとれたものになるように、「六甲道北地区全体のまちづくり」もまとめています。

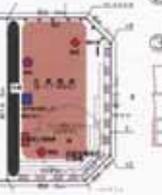
第2次まちづくり提案は、5つの専門部会からの提案、各協議会からの提案で大きく構成されています。また、提案の実現に向け、「これからも一緒に考え、一緒につくっていきましょう。」が最も大切な提案の趣旨、とまとめました。第2次提案以降、まちづくり提案は、地区に神戸市担当部局を招いての提出となりました。



第3次まちづくり提案  
「六甲町線まちづくり提案」



第4次まちづくり提案  
「3つのまちかど広場に関する提案」



その他3つの提案  
①神原町1丁目共同化対応  
②ショートカット交通排除のための区画道路変更  
③神若線の整備



第5次まちづくり提案

- ・『道路・広場』まちづくり提案（生活・防災道路、交通安全）
- ・『公園』まちづくり提案（六甲道北公園+集会所、六甲町公園）
- ・『六甲の生活中心』まちづくり提案（東西道路、森後公園）

## ●地区計画

よりよい住環境の確保のため、地区計画を検討しました。協議会から提案した内容のうち、敷地の背割り線からの「壁面の位置の制限」については、条例化は困難であるということから省かれ、都市計画決定されました。これにより、神戸市インナー長屋改善制度が適用され、建ぺい率が10%緩和されることになりました。



## ●勉強会の開催



各協議会は設立直後から週1回の役員会、幹事会として集まりを持っていました。その後、役員、幹事以外にも広くまちづくりに参加してもらえるよう、名称を「勉強会」に変更しました。現在も月1回開催し、170回をこえる勉強会を開催している協議会もあります。

## ●六甲住宅



「希望するみんなが良れる住宅の再建を目指す」ため、地区内に受皿住宅が必要でした。六甲町5丁目の六甲町線沿道を候補地として、検討を進め、平成11年9月には市営六甲住宅として完成しました。12月には入居にあわせて、「お帰りの会」が開かれました。

## ●ニュース

協議会の設立当初は、協議会ニュースを各協議会で発行していましたが、平成9年3月に「六甲北まちだより」を創刊し、毎月17日を発行日とし、連合協議会や専門部会の活動などを掲載してきました。また、平成13年4月には、週刊の「コミュニティニュース」を創刊し、地区のマスコット「ロッキー」も誕生しました。



# 神戸港の被災と対応状況

## 被災状況

利用可能なバースは、239バース中「9バース」  
上屋、屋積場、荷役機械、民間倉庫も使用不能



天保山行き船に並ぶ人々

## 震災直後の対応

- ◆ 救援物資、救援の受入に港湾施設を利用
- ◆ 臨時航路の開設(高浜岸壁、中突堤)
- ◆ 行政、事業者、組合からなる復興対策連絡会議の開催(平成17年1月25日)
- ◆ 24時間日曜・祝日荷役(4月11日より)使用可能バースの減少への対応



倒壊したガントリークレーン

# 神戸港の復興と港づくり

H7.4.28 「神戸港復興計画」  
“概ね2年を目処に港湾機能の回復を図る”

復旧工事の95%以上  
が国の災害復旧事業

H9.5.19  
「神戸港復興宣言」

マリンパーク(1997年)



マリンパーク(1996年)



六甲アイランドマリンパーク(1995年)



利用船舶数の低迷

国際競争力の強化

- 港湾施設利用料の減免
- FAX等の利用による入出港手続きの簡素化
- 国際海上コンテナターミナルの整備
- 大水深コンテナバースの整備
- 国際流通センターの整備
- 国際経済みなと特区